

環水大水発 071225002 号  
環水大土発 071225002 号  
平成 19 年 1 月 25 日

都道府県 水質保全担当部局長 殿

環境省水・大気環境局 水環境課長

地下水・地盤環境室長

「新・名水百選」（仮称）の選定に係る推薦について（依頼）

平素より、水環境保全行政につきまして、格別の御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、環境省では、現在の名水百選の選定以後の社会情勢の変化も踏まえ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水及び水環境の中で、特に、地域住民等が主体的かつ持続的に水環境の保全活動に取り組んでいるものを、現在の「名水百選」に加え、新たな名水、「新・名水百選」（仮称）として選定することとしました。なお、選定は、来年度、環境問題が主要議題の一つとして予定されている北海道洞爺湖サミットの開催時期までに行う予定です。

選定に当たっては、都道府県から 4 カ所を限度に推薦をいただいたうえで、環境省が設置した有識者により構成される調査検討委員会において、最終的な選定を行うこととしています。

つきましては、本取組の趣旨につきまして、貴都道府県管内の市町村へ周知いただくとともに、別添「新・名水百選」の募集に係る推薦要領により、「新・名水百選」に選定することがふさわしい優れた湧水、地下水又は河川（用水を含む。）を市町村から募集し、応募のあった中から御推薦をいただきますようお願い申し上げます。

（問い合わせ先）

環境省水・大気環境局

水環境課

足立、並木、鈴木

TEL：03-5521-8316

FAX：03-3593-1438

地下水・地盤環境室

佐藤、長面

TEL：03-5521-8308

FAX：03-3501-2717

(別添)

「新・名水百選」(仮称)の募集に係る推薦要領

平成19年12月

環境省水・大気環境局 水環境課

地下水・地盤環境室

1. 趣旨

環境省では、現在の名水百選の選定以後の社会情勢の変化も踏まえ、水環境保全の一層の推進を図ることを目的に、地域の生活に溶け込んでいる清澄な水及び水環境の中で、特に、地域住民等が主体的かつ持続的に水環境の保全活動に取り組んでいるものを、現在の「名水百選」に加え、新たな名水、「新・名水百選」(仮称)として選定することとしました。

このため、各都道府県から、「新・名水百選」に選定することがふさわしい優れた湧水、地下水、河川(用水を含む。)(以下、「湧水等」という。))について、4カ所を限度に推薦をいただいたうえで、環境省が設置する有識者により構成される調査検討委員会において、最終的な選定を行うこととしています。

2. 推薦対象となる水環境

湧水、自噴井等の地下水を選定対象の基本とし、河川についても範囲を限定したうえで選定の対象としますが、これらについて、「水環境について、過去1年間に何らかの保全活動が行われていること」を必須条件とします。なお、海域は対象としません。

また、昭和60年度選定「名水百選」に選定された湧水等については、改めて今回の選定対象とはしません。

なお、直接飲用できるかどうかについては選定の基準としません。

3. 対象候補の推薦の方法

- ① 都道府県から管内市町村に対して候補となる湧水等を募集します。
- ② 市町村は、応募しようとする湧水が地域内にあれば、別紙1の調査票に必要事項を記入し、都道府県に提出していただきます。記入に当たっては、別紙2の記入要領を必ずお読みいただいたうえで、別紙3の記入例を参考にしてください。
- ③ 各都道府県は、市町村から応募のあった湧水等の候補の中から、4カ所(湧水群の場合は1カ所としてカウントします。)を上限に、別紙1の調査票に推薦理由を記入し、調査票及び地図や写真等の添付資料を環境省に提出してください。
- ④ 各都道府県において候補を絞り込む際には、市町村から報告された調査票の内容に加え、県独自の調査結果をもとに判断を行ってください。

#### 4. 調査票等の提出

都道府県から環境省に提出いただく資料は、湧水等ごとに

- ・調査票（4件まで。）
- ・地図、写真等の調査票の添付資料

です。提出にあたっては、以下の要領によりお願いします。

- (1) 様式 調査票：別紙1（ワードファイルでご記入をお願いします）  
※別途都道府県の水質保全部局担当者宛に電子メールで電子ファイルを送付します。
- (2) 提出方法 電子データを郵送（CD等にコピー）又は電子メールに添付して送付してください。（原則として紙媒体は不可。地図情報等についても、PDF化等により電子化してください。）
- (3) 電子ファイルについて  
名水候補毎に電子ファイルを分けてください。  
電子ファイル名は、調査票の場合は、「都道府県コード 市町村名・湧水等の名称・調査票」添付資料の場合は、「都道府県コード 市町村名・湧水の名称・添付資料」としてください。  
例)「13 中央区・霞ヶ関湧水・調査票」又は「13 中央区・霞ヶ関湧水・添付資料」
- (4) 提出期限 平成20年3月31日（月）必着
- (5) 提出先
  - ・郵送の場合 〒100-8975 東京都千代田区霞が関1-2-2  
環境省水・大気環境局水環境課 足立、並木、鈴木
  - ・電子メールの場合  
E-mail : [weqc01@env.go.jp](mailto:weqc01@env.go.jp)  
メールの件名を、「都道府県コード都道府県名・新名水推薦」としてください。  
例) 13 東京都・新名水推薦
- (6) その他  
今後、調査検討委員会での指摘等により、提出期限前に調査票の項目や添付する資料を追加させていただく場合もあります。

#### (参考)

- (1) 都道府県より環境省に提出された推薦湧水等について、各界有識者からなる「調査検討委員会」において審査し、今回選定する名水を決定します。
- (2) 今後の予定は、次のとおりです。
  - ・平成20年3月末日 都道府県からの推薦締切
  - ・平成20年4～5月頃 審査・選定
  - ・平成20年6月上旬目途 選定結果の発表

(別紙1)

「新・名水百選」調書票様式(記入例)

○基本事項(市町村記入)

1 湧水等の名称及び形態： 1) 名称： (ふりがな： ) 2) 形態：ア. 湧水 イ. 河川 ウ. 地下水 エ. 用水 3) 所在する土地の種類：ア. 公有地 イ. 私有地 ウ. 公有地と私有地が混在
2 都道府県・市町村名及び担当者所属・氏名等 1) 都道府県・市町村名： 2) 担当者所属・氏名： 3) 連絡先：(〒 - ) TEL FAX E-mail：
3 湧水等の所在地及びアクセス方法： 所在地： アクセス方法：
4 湧水等の概要及び応募理由(300字以内)

○審査に必要な情報(市町村記入)

1 水質・水量 1) 水質(河川(用水を含む)のみ) BOD : ( ) mg/l 2) 水量・水量の変化(湧水・地下水(自噴井)のみ) ① 水量 湧水量 : ( ) t/日 ② 水量の変化 概ね5年前との比較 ア. 増えた イ. 変わらない ウ. 減った エ. 分からない
---



5) 保全活動の内容（経緯、参加者の規模、活動頻度、活動内容等）  
（300字以内）

6) 保全活動の歴史・表彰実績等（150字以内）

7) 保全活動の効果（150字以内）

8) 環境教育が行われている場合、その内容（150字以内）

6 その他の特徴・PRポイント

1) 故事来歴の内容・出典・伝承状況（150字以内）

2) 特異性、希少性（150字以内）

3) その他（150字以内）

当該湧水等のURL

（ウェブ上に情報を掲載している場合）

○ 添付資料一覧（写真については、被写体の内容を明示してください）

○推薦理由（都道府県記入）（300字以内）

--

都道府県担当連絡先

担当部・課		氏名	
電話		FAX	
E-mail			

(別紙2)

## 「新・名水百選」(仮称)の選定に係る調査票の記入要領

### (作成の目的)

本調査票は、新・名水百選への選定を希望される湧水等の状況を把握するために、湧水、自噴井等の地下水、河川(用水を含む。)(以下、「湧水等」という。)が所在する市町村において作成し、都道府県が推薦理由を記入した上で、環境省に提出していただくものです。

### (市町村記入分(「基本事項」及び「審査に必要な事項」))

#### 【記入上の注意－共通事項】

- 原則として、平成20年1月現在、または平成19年度の内容を記述してください。但し、水質については、平成19年度の直近の測定データに基づいて記入してください。
- 複数の湧水をまとめて湧水群として応募する場合は、1つの湧水として記入してください。
- 調査票への記載内容は、いずれも選定する際に評価の対象となるものですので、必ず事実に基づいて記入してください(選定後に事実と異なることが明らかになった場合には、選定を取り消すこともあります)。
- 調査票、添付資料は全て電子媒体で送付してください。
- 数値を記入する項目は、算用数字で記入してください。
- 文章を記入する回答欄には、主体を明らかにするとともに、経緯、内容等についてできるだけ詳細に記入してください。
- 調査票への回答は、調査票本体のみで完結させてください(参考資料を添付されても、後述の「添付資料」以外の資料については評価いたしません。)
- 数値情報や学術的なデータを紹介する場合は、できるだけ、出典を明らかにしてください。但し、字数制限がある場合は、出典も字数に含みますので留意してください。
- 字数制限等の記載上のルールを著しく逸脱した場合や、規定の送付方法によらずに送付された場合は、推薦された湧水等を評価の対象としないこともありますので、留意してください。

#### 【記入上の注意－個別事項(審査に必要な情報)】

##### 〈基本事項 3. 湧水等の所在地及びアクセス方法〉

- 湧水等の所在地は、番地まで特定できる場合は、番地まで記入してください。その際、番地等はハイフンで表記せず、「○丁目○○番地」というような表記として下さい。
- アクセス方法が複数ある場合は、2つまで記述してください。その際、最低1つは公共交通機関を利用するケースを含めるようにしてください。

## 〈1. 水質・水量〉

- 河川については、BODの測定値を必ず記入してください。
- 河川だけでなく、湧水や地下水についても、水質測定が行われている場合は、その結果又は結果の写しを送付して下さい（河川のBOD以外についても、今後の調査検討委員会における検討の中で、評価事項に追加される可能性があります）。
- BODの測定は、湧水の範囲や流域を代表する地点（湧水群の場合は、その湧水群を代表する湧水）で採水し、公定分析法（水質汚濁に係る環境基準について（昭和46年環告59））の別表2に定める測定方法に基づいて測定したデータを提出してください。  
なお、水質汚濁防止法に基づく常時監視による測定データ等、既存の測定データがあれば、直近の測定データをもって代替することができます（ただし、平成19年度に測定されたものに限ります）。
- 水量は、湧水及び地下水のうち自噴井についてのみ、測定結果があれば、記入してください（必須ではありませんが、評価対象となります）。

## 〈2. 周辺環境〉

- 特筆すべき動植物の生息や生態系の存在が、当該湧水等又はその周辺に認められる場合は、その概要を記入してください。
- 周辺環境の特色や、これらの環境を維持するために、特別な配慮（土地利用規制、人工涵養など）がなされている場合は、記入してください。

## 〈3. 親水性・近づきやすさ〉

- 親水性向上のための周辺環境整備やウェブ上での情報発信等、何らかの措置が講じられていれば、その内容を記入してください。

## 〈4. 水の利用状況〉

- 生活用水や農業用水等の水利用がある場合は、受益の規模がわかるように記述してください。
- 「地域の生活に密着した伝統的な水利用」には、料理や洗濯等への直接的な利用のほか、水に関するお祭り等もこれに含まれます。
- 伝統的な水利用がなされている場合、これを継承するために取り組まれていることがあれば記入してください。

## 〈5. 保全活動〉

- 何らかの保全活動が行われていることが必須条件になります。
- 保全活動に関して、以下に該当するものがあれば、それぞれA4版で1ページ分に整理、電子化して添付資料として提出してください。
  - ・19年中における保全活動に関して、新聞等に掲載された記事があれば、その写し（インターネット上のニュース記事も可としますが、広報誌やパンフレットは対象としません。また、複数ある場合は、代表的なものを一件選択してください。該当箇所が大部の場合であっても、抜粋する等により、1ページにまとめてください。）。
  - ・これまでの保全活動に関して、市販されている書籍に掲載されたものがあれば、そ

の該当箇所の写し（複数ある場合は、代表的なものを一件選択してください。該当箇所が大部の場合であっても、抜粋する等により、1ページにまとめて下さい。）。

- 保全活動による効果等についても具体的に記述してください。
- 当該湧水等が環境教育としての教材や野外活動に活用されている場合は、その規模や具体的な内容等について記述してください。

#### 〈6. その他の特徴・PRポイント〉

- 故事来歴がある場合は、その具体的内容とともに、どのように伝承されているのかについても記述してください。
- 希少性や特異性についてPRすべき内容があれば記述してください。世界3大〇〇や日本一の〇〇等を記述する場合は、その出典も記入してください。
- その他、上記設問に該当しないPRすべき事項があれば記入してください。

#### 【添付資料】

- 添付していただく資料は、「必ず提出していただくもの」と「なるべく提出していただきたいもの」に限定します。

##### 〈必ず提出していただくもの〉

以下の内容については必ず提出してください。

- ・地図上に湧水等の位置と範囲を落とし込んだもの（地図の縮尺は問いませんが、主要道路等との位置関係が分かるようにしてください。）
- ・湧水等の写真（湧水等の全景を写したものを含め2枚）

##### 〈なるべく提出していただきたいもの〉

- ・水質測定結果又はその写し（日付が分かるもの）
- ・調査票の3～6の記述内容について、写真を添付することにより評価の参考となると考えられる場合は、その写真（例えば、水に関する祭りの写真（調査票4関係）、環境教育が行われている写真（調査票5の6）関係）。ただし、写真の数は、一つの内容について1枚とします。
- ・保全活動に関する新聞記事、書籍の引用箇所の写し（〈5. 保全活動〉を参照）
- 写真を送付される場合の留意事項
- ・通し番号を付したファイルを作成（写真①、写真②・・・等）し、調査票の「添付ファイル」の欄に、ファイル毎の被写体の内容を明示してください。
- ・写真の形式・サイズは、以下のとおりとして下さい。

ファイル形式	.jpg
画像サイズ（ピクセル）	1024×768以上（縦長・横長どちらでも可）

- ・湧水等の写真については、新・名水百選に選定された場合、パンフレット等に使用することも想定しているため、著作権上問題がないものを提出して下さい。
- ・これから撮影する場合は、写真に撮影日を入れないようお願いいたします。

### (都道府県記入分 (推薦理由))

- 市町村から提出された湧水等について都道府県で絞り込みを行い、環境省への推薦の対象となった湧水等 (最大4カ所) についてのみ記入してください。
- 記入に当たっては、都道府県として推薦する理由を、調査票の内容に加え、都道府県独自の判断により、記述してください。

(別紙3)

「新・名水百選」調書票様式(記入例)

○基本事項(市町村記入)

1 湧水等の名称及び形態： 1) 名称：〇〇湧水群(ふりがな：〇〇〇ゆうすいぐん) 2) 形態：ア. 湧水 イ. 河川 ウ. 地下水 エ. 用水 3) 所在する土地の種類：ア. 公有地 イ. 民有地 <b>ウ.</b> 公有地と民有地が混在
2 都道府県・市町村名及び担当者所属・氏名等 1) 都道府県・市町村名：〇〇県〇〇町 2) 担当者所属・氏名：都市計画課公園みどり係 〇〇 〇〇 3) 連絡先：(〒〇〇〇-〇〇〇〇) 〇〇県〇〇市〇〇1番地 TEL 〇××-△△△-〇〇〇〇 FAX 〇〇-△△-××× E-mail：〇〇〇@×××.go.jp
3 湧水等の所在地及びアクセス方法： 所在地：〇〇県〇〇町〇〇1丁目2番地 アクセス方法：JR〇〇駅から〇〇行きバスで〇〇下車、徒歩5分
4 湧水等の概要及び応募理由(300字以内) 本湧水は、〇〇山麓にあり、極めて水量が多く、上水道、工業用水として利用されている…… 本湧水の周辺には、学術上貴重な水生植物〇〇〇〇が生息している。こうした素晴らしい自然を保全するため、〇〇〇等の対策や地元の有志により、保全活動が積極的に行われている。 これらのことから、〇〇〇〇であり、新たな名水として応募するものである。

○審査に必要な情報(市町村記入)

1 水質・水量 1) 水質(河川(用水を含む)のみ) BOD：( ) mg/l 2) 水量・水量の変化(湧水・地下水(自噴井)のみ) ① 水量 湧水量：( 〇〇万 ) t/日 ② 水量の変化 概ね5年前との比較 <b>ア.</b> 増えた イ. 変わらない ウ. 減った エ. 分からない
--



5) 保全活動の内容（経緯、参加者の規模、活動頻度、活動内容等）  
（300字以内）

NPO法人〇〇は、開発の危機にさらされていた〇〇湧水群の保全に必要な土地の買い上げ・借り上げを行い、その土地の保全管理を行うナショナルトラスト運動を進めてきた。現在、会員は全国で〇〇〇〇人。土地の買い上げ・保全管理の他に、流量調査、水源涵養地への植樹、自然観察会を定期的に行っている。

19年度は、〇月に〇〇、〇月に〇〇を行い、それぞれ、〇〇〇人、〇〇〇人の参加を得た。

6) 保全活動の歴史・表彰実績等（150字以内）

NPO法人〇〇は、昭和〇〇年に母体であるが結成され、平成〇〇年に法人格を得た。

これまでの実績が評価され、平成〇年に、環境省より〇〇賞を受賞したほか、平成〇年に〇〇〇を受賞した。

7) 保全活動の効果（150字以内）

これらの活動により、水質が格段に向上し、水量が〇割増加するとともに、〇〇などの希少生物も高頻度で見られるようになった。

また、大勢の地域住民が参画したことにより、環境への意識が高まり、〇年には、〇〇を実施するに至った。

8) 環境教育が行われている場合、その内容（150字以内）

環境教育の一環として、毎年〇月に、近くの小学生が総合的な学習の時間に〇〇〇や〇〇〇を行い、水環境保全の重要性を学習している。

6 その他の特徴・PRポイント

1) 故事来歴の内容・出典・伝承状況（150字以内）

弘法大師が〇〇〇したところ、〇〇〇となったという言い伝えがある（出典：〇〇）

2) 特異性、希少性（150字以内）

本湧水の湧水量〇〇万t/日は、確認されている湧水の中では、日本一の湧水量を誇る（出典：〇〇〇）。

3) その他（150字以内）

当該湧水等のURL

（ウェブ上に情報を掲載している場合）

<http://〇〇〇〇〇>

〇 添付資料一覧（写真については、被写体の内容を明示してください）

- ・地図及び湧水のエリア
- ・保全管理に係る記事の写し（〇月〇日〇〇新聞）
- ・写真①（全景）
- ・写真②（公園から〇〇を臨む）
- ・写真③（周辺に整備された名水公園）
- ・写真④（名水を用いた郷土料理〇〇）
- ・写真⑤（保全活動の一環として行われた〇〇）
- ・水質調査結果（調査日：平成19年8月30日）

○推薦理由（都道府県記入）（300字以内）

〇〇湧水群は、〇〇県自然公園内にあり、湧水量が極めて多く（〇〇t/日）、〇〇や〇〇に利用されるなど、〇〇〇や〇〇〇に利用されるなど、古くから地域の生活に溶け込んでいる。また、保全活動も非常に活発に行われており、・・・・・・  
これらのことから、本湧水群は、〇〇〇として推薦を行うものである。

都道府県担当連絡先

担当部・課	〇〇県環境局水環境課	氏名	〇〇 〇〇
電話	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇	FAX	〇〇〇-〇〇〇-〇〇〇〇
E-mail			